

図版提供

本リリース掲載の図版をデータ提供します。下記「お問合せ」先の電話やメールでお問合せください。

[各図版クレジット]

- 八戸市・湊中学校養護学級生徒 / 指導: 坂本小九郎「3. 天馬と牛と鳥が夜空をかけていく」《虹の上を飛ぶ船・総集編(2)》(1976)
五所川原市教育委員会蔵(青森県立美術館寄託作品)
- 小村つる(五戸町・石沢小学校1年生)《コスモス》(1956)五所川原市教育委員会蔵
- 秋田県大館市・越山小学校6年生14名 / 指導: 庄司時二「(表紙)日中不再戦友好碑」《あの山を越えて》(1983)
五所川原市教育委員会蔵
- ケーテ・コルヴィッツ「5. 襲撃」《織工の蜂起》(1893-97)青森県立美術館蔵
- 今純三《立てる少年像》(1924)青森県立美術館蔵
- 詩: 菊岡久利 画: 大田耕士「ボクらの戦争」《毎日新聞》1943(昭和18)年4月14日/朝刊4面
- WS 主導: 斎藤寛子「《反戦反核》をみなで彫る(石巻)」(2025)
- 東北朝鮮初中級学校生徒14名による「版画バナー」(2025)東北朝鮮初中級学校蔵
- Marverick Randoll/ 指導: Ouda Baxter《The Ocean》(2023)青森モーニングロータリークラブ蔵

[図版貸出条件]

- 画像は、本展広報以外の目的で使用しないでください。
- 画像データを第三者に渡すことはできません。使用後、データは消去してください。
- 作品画像は全図で使用してください。部分掲載やトリミングはできません。
- 画像を掲載される際には、イメージ貸出時に添付するクレジットをご記入ください。
- 掲載、放送の際には事前確認のため、ゲラ、掲載誌(紙)または映像のご提供をお願いいたします。
- 掲載紙は、下記広報担当宛に一部ご寄贈ください。Webサイトの場合は、掲載時にお知らせください。

お問合せ

青森県立美術館 〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel: 017-783-3000 Fax: 017-784-5244

Mail: bijutsukan@pref.aomori.lg.jp 美術館公式 HP: www.aomori-museum.jp

[広報担当] 森 [展覧会担当] 奥脇

プレスリリース
PRESS RELEASE



2025/11/15±-2026/4/12日

* 前期 11/15±-1/18日 後期 1/24±-4/12日

休館日: 11/25火, 12/8月, 22月, 26金-1/1木, 13火, 19月-23金, 26月, 2/9月, 24火, 3/9月, 23月

開館時間: 9:30-17:00(最終入場16:30)

* 11/15, 12/20, 1/17, 2/21, 3/21はナイトミュージアムにつき20:00まで開館(最終入場19:30)

青森県立美術館 地下1階展示室
AOMORI MUSEUM OF ART

青森県立美術館
AOMORI MUSEUM OF ART

展覧会チラシ

青森県立美術館 〒038-0021 青森市安田字近野185 Tel: 017-783-3000 Fax: 017-784-5244

Mail: bijutsukan@pref.aomori.lg.jp 美術館公式 HP: www.aomori-museum.jp

[広報担当] 森 [展覧会担当] 奥脇

趣 旨

戦後80年を見すえて企画される本事業は、小中学校での版画の取り組み－「教育版画」における子どもたちの「他者と共に生きる実践」という側面に改めて注目し、反復させ、アートを社会の今を動かす力につなぐ県立美術館の展示プロジェクトです。同時期のコレクション展内での開催となります。

戦後の教育版画運動をけん引した大田耕士（版画家・教育者）らの戦前の仕事や墨塗り教科書を起点にすえ、平和を思い生活を見つめることから生まれた 1950～90 年代の県内教育版画作品（五所川原市教育委員会蔵）を軸とし、全長 30m の傑作《車力農業史》刷りなおしや抵抗のアクションとしての版画を手がける A3BC の活動、国をこえた子どもたちの版画交流の現在が随時合流して展開します。ここには互いの共感と地域へのまなざし、平和への祈りが交響する場が生まれることになるでしょう。

未だ戦火に苛まれ、社会的矛盾が深刻化し、技術の濫用が地球をも引き裂く今日の世界。いま私たちは自らの手と目を鍛え、コスモスの花言葉に通じる「平和」を積極的に求める必要があります。もっと学びを、もっと版画を！かつての・いまの子どもたちと連帯して私たちも成長しなおす時が来ました。

芽吹くコスモスたる版画作品の数々を、多くの方に体験していただければ幸いです。

紹介作家や学校

A3BC、大田耕士、菊岡久利、今純三、県教育サークル協議会、ケーテ・コルヴィッツ、斎藤寛子、志賀理江子、鈴木喜代春、

働くものの会、六ヶ所村図工研究部

〔鰺ヶ沢町〕西海小学校生徒 〔黒石市〕大川原小学校生徒、黒石小学校生徒 〔五戸町〕石沢小学校生徒

〔佐井村〕佐井小学校生徒 〔外ヶ浜町〕石浜中学校生徒 〔つがる市〕育成小学校生徒、富蒔中学校生徒、車力小学校生徒

〔八戸市〕小中野小学校生徒、鮫中学校生徒、湊中学校生徒 〔深浦町〕岩崎南小学校生徒 〔藤崎町〕十二里中学校生徒

〔三沢市〕上久保小学校生徒 〔むつ市〕奥内小学校二又分校生徒 〔六戸町〕昭陽小学校生徒 〔青森市〕市内小学校生徒

〔秋田県大館市〕越山小学校生徒 〔宮城県仙台市〕東北朝鮮初中級学校生徒 〔アメリカ・メイン州〕小学校等生徒 ほか

概 要

展覧会名 (和) コスモスの咲くとき －地域に学び、平和を刻む教育版画の‘いま’

(英) When the Cosmos Bloom: Educational Printmaking as Convivial Arts

会 期 2025/11/15(土)～2026/4/12(日) * 前期 11/15(土)-1/18(日)・後期 1/24(土)-4/12(日)

会 場 青森県立美術館地下1階展示室 * コレクション展内で開催

開館時間 9:30-17:00 (最終入場 16:30)

*11/15、12/20、1/17、2/21、3/21はナイトミュージアムにつき 20:00まで開館 (最終入場 19:30)

休 館 日 11/25(火)、12/8(月)、22(月)、26(金)-1/1(木)、13(火)、19(月)-23(金)、26(月)、2/9(月)、24(火)、3/9(月)、23(月)

観 覧 料 一般 700(560)円、大学生 400(320)円、18歳以下及び高校生 無料

* ()は20名以上の団体料金 * 心身に障がいのある方と付添者1名は無料

主 催 青森県立美術館

後 援 青森放送、青森テレビ、青森朝日放送、東奥日報社、デーリー東北新聞社、陸奥新報社、

青森市教育委員会、五所川原市教育委員会

デザイン 大西正一

企画担当 奥脇嵩大（青森県立美術館 学芸主査）

展示構成

第1章. ぼくたちはどう生きるか －焼けあとに集う

県内版画興隆の祖・今純三、教育版画をけん引した大田耕士らの戦前の作品資料のほか、墨塗り教科書、50年代の平和学習や生活綴方の要素を取り入れた学級通信など展示。暮らしへのまなざしと平和への祈りを一致させ、生きることを立て直そうとした戦前から戦後に至る実践の軌跡を紹介します。

幕 間. 山の向こうでは －「花岡事件」を忘れない

平和と地域をつなぐ結節点的な教育版画の実践として青森の山向こう－秋田県大館の越山小学校で取り組まれた終戦間際の中国人強制労働の史実（「花岡事件」）を悼み、今に伝える作品《あの山を越えて》と花岡事件に関連する作品《花岡ものがたり》や志賀理江子と斎藤寛子による映像作品を紹介します。

第2章. 地域に学び、己を耕す －もう一つの「成長期」を刻む

1960 年代から 70 年代の「高度経済成長期」にかけて、県内各地に根ざした歴史や出来事に学び、他者への気づきのもと小学生らの「もう一つの」成長を刻む作品たちを紹介します。本章前期の会期中に《車力農業史》板木展示と藤田敏幸（元車力小学校長／元西北美術教育研究会長）らを迎えた版画の刷りなおしを行い、刷られたものは後期に追加展示予定です。

第3章. 種のゆくえ －いのちと平和の明日をもとめて

身近な社会としての地域へのまなざしは同時代の社会の矛盾や環境の変化へと向けられ、やがて互いを尊重し、「心の平和」をもとめる想像力豊かな作品制作へと結実してゆきます。本章では往年の作品のほか版画を通じて交流し、成長してゆく現在の子どもたちやアーティストの作品を紹介します。

関連企画

1. 担当学芸員による展示解説

日 時：11月15日(土) 11:00～12:00

講 師：奥脇嵩大（青森県立美術館学芸員）

参加費：無料 ※コレクション展チケットが必要です。

参加希望の方は時間までに地下2階アレコホール前にご集合ください。

○そのほかの関連企画も現在検討中。決まり次第、美術館 HP 等を用いて告知します。